

# 教えの庭から

法事の後などで、墓に塔婆を立てるのですが、その意味はなんだろうかと尋ねられたことがあります。塔婆は、仏塔を意味するサン

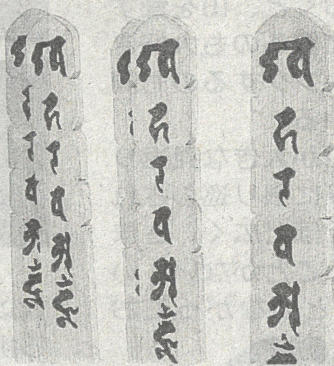
スクリット語の「ストウーパ」を漢字で卒塔婆と表し、それを塔婆と略したもので、塔のような形状をした縦長の長さ1〜2尺で、幅9センチくらい、厚さ1センチ弱の木片です。木片の上部には五輪塔を模した切り込みがあります。塔婆に書かれる文字は、表には故人の戒名（法名）や年回忌、裏にはお経の言葉などが書かれるのが一般的です。

塔婆を立てるのは、「人は死んでから、仏の国・浄土へ向けての困難な道歩み、そして仏になられる」という教えがあり、現世の家族や親族が「無事に成仏できますように」と、冥福

## 塔婆を立てること

出雲市斐川町・仁照寺住職 江角 弘道

（来世の幸福）を祈り供養する。しかし、死んだ人が行くためにするのです。一くとう来世・浄土が本当方、浄土真宗では、人が亡くなる阿弥陀如来の導きによってすぐに極楽浄土へ導かれ、成仏されると考え方で、「家族や親



挿絵 平尾恵郷

（来世の幸福）を祈り供養する。しかし、死んだ人が行くためにするのです。一くとう来世・浄土が本当方、浄土真宗では、人が亡くなる阿弥陀如来の導きによってすぐに極楽浄土へ導かれ、成仏されると考え方で、「家族や親本」死ぬときに後悔すること

族が追善供養を行うことと25」（大津秀一著）の中で、故人の成仏のためには、患者さんが後悔して「という考えをしないため、塔婆を立てないそう

塔婆は、浄土があるといふことと立てられていま

「観無量寿経」に「心想事成、冥福を祈りたいと思